



四国の地方銀行4行で、包括提携 (伊予銀行×阿波銀行×百十四銀行×四国銀行) 「四国アライアンス」をスタート!



伊予銀行

銀行名：株式会社伊予銀行
創業：明治11年3月
本店所在地：愛媛県松山市
頭取名：大塚 岩男

阿波銀行

銀行名：株式会社阿波銀行
創業：明治29年6月
本店所在地：徳島県徳島市
頭取名：長岡 奨

百十四銀行

銀行名：株式会社百十四銀行
創業：明治11年11月
本店所在地：香川県高松市
頭取名：綾田 裕次郎

四国銀行

銀行名：株式会社四国銀行
創業：明治11年10月
本店所在地：高知県高知市
頭取名：山元 文明



Shikokuの「S」とAllianceの「A」でリボンを形作り、リボンを構成する4色のラインが4行を表す。それぞれが結び繋がり、一つの目的に向かって協働し、それが四国全体へのギフト(四国創生)になるという思いを表現

4行が協働して「四国創生」を後押し!

伊予銀行の主たる営業基盤である愛媛県、さらに四国は「人口減少、少子・高齢化などの社会構造問題の先進圏」という課題に直面しており、地域金融機関として、地域活性化に向け、求められる役割も一層大きくなっています。

また、金融機関を取り巻く環境に目を移すと、長期的な低金利傾向の中、流通系・ネット系といった異業種からの参入などにより、競争は激化しています。一方で、証券や保険をはじめ、FinTechといった新しい金融サービスなど、地域金融機関としての新たな成長への機会も芽生えており、環境の変化に適応した柔軟かつスピーディーな対応力も強く求められているところです。

このような構造変化に対応するには、当行単独、各行単独ではなく、力のある4行が協働して、四国という大きな枠組みで取り組むことにより、多大な効果が期待できます。4行の強みやノウハウを結集し、4行を単純に足し合わせた以上

の相乗効果を発揮して、四国地域の活性化「四国創生」を後押ししていくことを目的としています。

方向性

4行が独立経営のもと、健全な競争関係を維持しつつ、4行それぞれの強みやノウハウを結集し、四国創生に向けた5つのテーマに取り組む。



地域の魅力を高め、地域・お客さまと
4行が持続的に成長・発展



26の分科会を立ち上げ、5つのテーマごとに施策を展開!

四国アライアンスの締結以降、26の分科会を立ち上げ、4行を繋いだテレビ会議を利用して、四国創生に向けた「興す」「活かす」「繋げる」「育む」「協働する」という5つのテーマごとに施策の検討を行いました。

具体的には、「興す」の施策として、創業・成長・再生・事業承継といったお客さまのビジネスステージに応じたご支援を行うため「ファンド運営会社の設立」を目指します。

「活かす」の施策として、対象商品をご購入・ご契約していただいたお客さまから抽選で4県の特産品を贈呈する共同キャンペーンを開始しました。今後は、4行で魅力ある地域資源の情報を収集・発掘してデータベース化するとともに、四国資源のブランド化に向けた整備を進めていきます。

「繋げる」の施策として、4行が相互にお取引先を紹介し、お取引先の売上や製品開発等の企業価値向上をご支援するビジネスマッチングを開始し、3年間で計4,000件の紹介を目指しています。また、4行の国内外のネットワークを活用し、お取引先と四国外および海外企業とのネットワーク構築をご支援する商談会や交流会を開催します。

「育む」の施策として、阿波銀行、百十四銀行、四国銀行が当行の子会社であるいよぎん証券と提携し、いよぎん証券の外国債券や仕組債などの商品を取扱いできるようになりました。いよぎん証券の共同活用により、お客さまの選択肢はこれまでより増えることとなりますので、地域の皆さまの資産形成のお役に立てると考えています。

「協働する」の施策として、4行で共通・重複している事務・業務を比較分析し、事務の共同化によるお客さまの利便性向上を目指します。また、各種研修会への相互参加や合同研修の実

施による人財交流を図り、行員のレベルアップを目指します。今後も様々な施策をスピード感を持って実施していきます。

目指す連携の姿

各行の経営の独立性を維持



全体の企画・推進

共同プラットフォームの確立

効率的な運営

積極的な情報発信

- 興す** 四国の産業・事業を興し、経済の活性化と働く場を創出
- 活かす** 地域資源を四国ブランドとして国内外へ発信
- 繋げる** ビジネスマッチング等による域内外交流の活性化
- 育む** お客さまの金融資産形成、地域を担う人材の育成
- 協働する** 四国創生を支える経営基盤の構築

四国創生に向けた共通の課題に対し、
多大なコストをかけずスピーディに対応

競争は維持しながら、持続的な成長・発展を目指す!

四国アライアンスは、提携であって、経営統合や合併ではありません。この提携は、あくまで、それぞれが独立した銀行として経営しながら、4行が協働できる場所を一緒にやっていくというものです。提携した銀行同士の競争関係は変わるどころではなく、営業活動や業務は今までどおり行います。

四国アライアンスは、四国地域の活性化「四国創生」に取り組むことにより、お客さまの事業の成長・発展、人生の幸せと生活の豊かさに貢献し、地域金融機関として持続的な成長・発展を目指すのだという4行の強い思いが1つになったものです。